

むらの話題

地域的话题を
お待ちしております
■総務課・広報係
☎029-885-0340 (内) 205



縄文体験の日開催

たくさんの方が訪れました



5月3日、文化財センターにて縄文体験の日が催されました。天候不良が心配されていましたが当日は快晴。村内外からたくさんの方が訪れ、会場内は常時ひとで溢れていました。リピーターや村外からの来場者も多く、なかには遠く県外から訪れたという方もいました。土器づくりや縄文クッキーづくり等、8種類の体験メニューに加え、希望者は文化財センター内の展示室や陸平貝塚公園等を文化財協力員さんのガイドで巡ることもでき訪れた方々はゴールデनुイークの楽しい一日を満喫したようでした。

美浦トレセン 開設40周年記念式典



4月16日、厚生会館において美浦トレーニング・センター開設40周年記念式典・祝賀会が行われました。式典では、日本中央競馬会の理事長である後藤正幸氏が開所当時に勤務していた時の思い出を述べ、40年にわたってともに歩んできた地元の方々、関係者への感謝の気持ちを伝えたいと、更なるトレセンの発展についてを語られていました。また、祝賀会では美浦の食材を使った料理や、興津蕎麦遊会によるかけそばが、来賓や関係者の方々に振る舞われました。

区長・副区長会議 区長会総会開催



4月21日、中央公民館で平成30年度区長・副区長会議が開催され、各地区の区長さん・副区長さんに委嘱状が交付されました。また、会議に引き続き区長会総会が開催され、平成30年度の役員さんが選ばれました。一年間よろしくお祈りします。

◎平成30年度区長会役員 敬称略

会長 大津英幸(大山東部)
副会長 飯塚英治(山王) 殿岡 浩(大谷)
坪井文男(浜)

芳源マッシュルーム 日本農業賞大賞受賞



2月31日、芳源マッシュルーム(菅佐原芳夫代表)が第47回日本農業賞の個人経営の部で大賞を受賞しました。日本農業賞はNHK、JA全中、JA都道府県中央会が主催しており、日本農業の確立をめざし、意欲的に経営や技術の改革に取り組み、地域社会の発展にも貢献している農業者と営農集団を表彰しています。芳源マッシュルームは一戸の生産農家からスタートし、生食用マッシュルーム国内生産の約3分の1を誇る企業を一代で築き上げた点が評価されました。このたびの受賞、おめでとうございます。



おめでとう 美浦所属馬 G I, J・G I 制覇



第78回 桜花賞 アーモンドアイ号



国枝 栄 調教師



根岸 真彦 調教厩務員

4月8日、阪神競馬場(1600m・芝コース)で行われた第78回桜花賞において、美浦トレーニング・センター国枝栄厩舎所属のアーモンドアイ号が優勝しました。スタート直後はライバルたちを見守るかのようには後続に位置する。終盤までこのままレースを進め、最終コーナーを回りきったところでここまでためてきたパワーを放出するかのようにはスパートをかける。一気にライバルたちを抜き去り、さらには差を広げ先頭でゴール。見事優勝しました。

担当する根岸真彦調教厩務員は、「普段はおとなしく、多少気の強いところがあるが非常に扱いやすい馬です。馬運車での移動でも、動揺することなく落ち着いていました。パドックではさすがにG Iということもあり、いつもと違う雰囲気でしたが、回っているうちに落ち着いてきました。ゲートに馬を入れた後はモニターでレースを見ました。最後の直線に入ったところからしか見ることができなかつたのですが、いつもの差し足を使ってくれれば大丈夫だろうと思い見ていました。このレースには家族全員が応援に駆け付けてくれたので、その前で勝利することができとてもうれしかったです。」と語ってくれました。

鮮やかに3歳牝馬G Iの第一冠を手中に収めたアーモンドアイ号の今後のさらなる活躍が楽しみです。



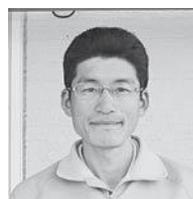
翌週の4月14日、中山競馬場(4250m・芝コース)で行われた第20回中山グランドジャンプにおいて、美浦トレーニング・センター和田正一郎厩舎所属のオジュウチョウサン号が優勝しました。

スタートダッシュを決めたオジュウチョウサン号は先頭集団でレースを進める。障害を華麗に飛越しつつレースを進め、終盤にかかったところで先頭馬を追い抜くと後続をぐんぐん引き離し、大差をつけてゴール。見事、中山グランドジャンプでは3連覇、J・G Iにおいてはなんと5連覇を達成しました。

担当の長沼昭利厩務員は、「今回は感染症で体調を崩してしまい調教できない期間が1か月間位ありました。100パーセントと言える状態ではなく、短い期間でどこまで状態を上げていけるか心配がありました。馬をゲートに入れた後はラジオでレースを聞いていました。ところどころレースを直接見ることは出来ましたが、見ないようにしていました。今回の勝利はこれまでの勝利とは違い、調教が順調でなかった分重みがあり、初めてG Iを獲った時ぐらいのうれしさがありました。」と語りつつも最後には、「また年末に取材に来てください。」と力強く語ってくれました。

さらに上を目指すオジュウチョウサン号の今後の活躍が楽しみです。

第20回 中山グランドジャンプ オジュウチョウサン号



和田 正一郎 調教師



長沼 昭利 厩務員



石神 深一 騎手